

初	婦	E
		Da
		5

労働者家庭 生活技術指導状況報告

— 昭和36年(1月～12月)—

本室
婦人少年室
第37822号

労働省婦人少年局

人務

は し が き

労働者家庭の主婦を対象とする生活技術指導は、別添の実施要領にもとづき、各婦人少年室において昭和33年から実施している。開始以来、モデル地区の対象となった事業場は指導終了したもの及び、現在も指導を継続して受けているものを合わせて、133事業場である。

指導は原則として1カ年（12カ月）をもって終了するたてまえであるが、なお継続して指導が必要と認められる場合には延長して行ない、その間において自主的な「家政研究グループ」に移行するようにうながしている。

指導内容は、家計指導や衣食住に関することから、保健衛生、子どもの教育、人間関係など広範にわたっているが、対象家族、生活環境等の実情を勘案して、それぞれのモデル地区に必要なものを選び、理論と実地指導を行なっている。

これの指導は、特にそのために置かれている婦人少年室専任協助員が、室長の指示にもとづいて行なっているが、必要に応じて各分野の専門家、有識者等を委嘱し、専任協助員の行なう指導に加えて協力を得ている。

なお指導を終了し「家政研究グループ」に移行した地区に対しては、側面的に助言指導を行なっている。

モデル地区における労働者家庭生活 向上のための技術指導計画実施要領

1. 趣 旨

労働者が十分な生産活動を行うためには、労働者自身の福祉とともに、家庭生活の向上がのぞまれるので、そのための施策の一助として、社宅等労働者住宅の密集地域における労働者家庭に対し、生活向上のために必要な技術について集団的、継続的に指導援助を行なうものとする。

2 実 施 対 策

労働者住宅密集地域の中から選定したモデル地区における労働者家庭の主婦とする。

3 実 施 方 法

労働省婦人少年局は労働者家族の生活技術指導を担当する協力員を選任し、婦人少年室を通じて次の方法によって指導を行なうものとする。

(1) 懇談会の開催

婦人少年室長は専任協力員とともにこの問題についての関心をたかめるため、労働者家族および関係事業所、労働組合等とモデル地区において懇談会を随時開催する

ものとする。

(2) 専任協助力員による技術指導

専任協助力員はモデル地区に出張し、直接労働者家族に接して集団指導を行なうものとする。

(3) 連絡員

婦人少年室長はモデル地区に居住する労働者家族の中から特にこの問題について熱意をもつ有能な主婦を当該地区における連絡員としておくよう勧奨する。

4. 指導内容

家計、保健、衛生、家事作業、教養、娯楽、人間関係等家庭生活に含まれる諸項目に関し、向上のために必要な知識の普及および技術の指導ならびに協同活動の育成指導を行なうものとする。

5. 実施開始の時期

昭和33年労働者家族福祉運動期間中に懇談会を開催し、爾後継続的に技術指導を行なうものとする。

生活技術指導のためのモデル地区

府県名	事業名	従業員数	対象世帯について		集会所の有無	モデル月収
			世帯数	平均家族		平均
北海道	雪印乳業株式会社	576	75	4.0	有	23,985
青森	台同酒精(株)八戸工場	225	49	3.2	"	31,940
岩手	松尾鋳業(株) 松尾鋳業所	3968	583	5.0	"	17,000
宮城	東北特殊鋼材KK	560	21	3.0	"	25,000
秋田	東北パルス秋田工場	907	250	4.5	"	30,000
山形	国鉄秋田鉄道管理局 山形駅					
福島	(株)福島製缶所	514	63	4.5	"	28,794
茨城	日本鋳業(株) 日立鋳業所	4500	429	5.0	"	23,800
栃木	なし					
群馬	白石工業(株) 白艶華工場	257	40	4.0	"	18,000
埼玉	大阪窯業(株) 東京工場	220	105	5.5	"	21,000
千葉	日本毛織(株) 中山工場	1513	291	3.0	"	30,000
東京	東都製鋼(株) 東京製鋼所	1,175	232	3.6	"	29,000
神奈川	日産自動車株式会社	2099	108	5.0	"	23,700
新 潟	日東紡績(株)新潟工場	583	102	2.7	"	25,000
	帝國石油(株)新潟鋳業所	362	36	4.0	なし	30,056
富 山	立山製紙株式会社	185	169	2.9	—	22,591

一 覧 表

地区労働者の 賃 金		主婦会・家族会		室からの 所要 時 間 (分)	備 考
最 高	最 低	有 無	加 入 状 況		
77.300	8.090	無		40	36.1~12 実施
77.500	18.900	有	59	180	36.8より開始
25.500	7.000	"	会員数 530	150	37.3 終了
50.000	10.000	無			36.4より 37.3 実施
60.000	25.000	有	全員 400	45	36.3より 37.3 実施
					36.1より開始
34.084	17.289	なし		20	
43.700	14.300	有	加入者 394	100	36.4より 37.3 実施
32.000	12.000	無		120	37.3 終了
39.000	16.000	有	100	90	36.12 "
90.000	20.000	無			36.9~37.8 実施
45.000	18.000	有	不明	45	37.6 終了
36.000	18.000	"	108	60	36.6~37.3 実施
87.000	15.000	無		35	36.5 終了
47.440	28.253	なし		30	36.5より 37.6 実施
42.640	9.226			30	36.3より開始

府県名	事業名	従業員数	対象世帯について		集会所の有無	モデル月収
			世帯数	平均家族		平均
石川	丸一紡績株式会社	824	23	3.7	有	28,500
	東和織物株式会社	570	12	4.0	"	22,000
福井	大和紡績福井工場	1243	77	4.2	無	25,600
山梨	日本電化工業(株) 山梨工場	190	29	3.6	"	不明
長野	昭和電工(株) 大町工場	1700	700	3.2	有	31,800
岐阜	岐阜紡績(株)	1037	61	3.5	"	25,000
静岡	なし					
愛知	大東紡織(株) 名古屋工場	1450	54	5.0	無	35,000
三重	平田紡績(株)	2015	30	4.0	なし	25,084
滋賀	敷島帆布草津工場	380	30	4.0	有	29,115
京都	京都製紙株式会社					
大阪	日立造船株式会社	14762	40	3.1	有	35,000
兵庫	小泉製麻株式会社	2600	316	2.8	"	26,720
奈良	日本アスベスト任寺工場	328	120	3.0	"	I)16800 社)29300
和歌山	佐友金属(株)和歌山製造所	4707	102	4.0	"	50,000
鳥取	中国電力(株) 鳥取支店	180	69	4.3	"	23,000
島根	オーエム製作所 宍道工場	1075	108	4.3	"	I)22521 職)26,246

地区労働者の 賃 金		主婦会・家族会		室から の所要 時間 (分)	備 考
最 高	最 低	有 無	加 入 状 況		
39000	23000	無		20	} 36.9より開始
35000	16000	有	12	20	
32660	18533	無		15	36.4より "
不明	不明	"			36.12終了
56600	10440	有	500	180	36.6 終了
48000	14000	無		30	
50000	22000	有	54	20	36.11より開始
35400	18020	なし		60	36.6 より "
46318	14820	"		30	36.12 終了
					36.9-10 会社倒産のため打ち切り
65000	25000	有	全員 加入	40	36.7より 開始
65500	12000	有	"	30	36.12 終了
65200 68100	7151 10270	不明		120	
70000	50000	有	500	40	36.9より開始
58000	17000	なし		15	36.7 より "
30119 38864	11907 15750	"		45	36.10 終了

府県名	事業名	従業員数	対象世帯に ついていて		集会所 の有無	モデル 月収	
			世帯数	平均 家族		平均	
岡山	三井造船(株) 玉野造船所	7752	496	4.0	有	34,683	
広島	三菱造船(株) 広島造船所	5,332	45	3.6	"	35,000	
山口	送 定 中						
徳島	日清紡績KK 徳島工場	380	130	3.7	"	25,000	
香川	常磐産業株式会社	709	36	5.0	無	16,300	
愛媛	大阪メタル松山工場	260	60	4.0	有	30,000	
高知	四国電力(株) 高知支店	320	36			26,950	
福岡	三井化学工業(株) 大牟田工業所	4,117	78	4.6	"	32,300	
佐賀	日本通運(株) 佐賀支店	300	30	4.5	なし	21,000	
長崎	日鉄鉦業(株) 伊王島鉦業所	1,430	35	4.8	有	30,000	
熊本	日華ゴム(株) 熊本工場	1,657	75	4.7	"	15,000	
大分	住友化学鶴崎工場	715	46	3.1	無	26,408	
宮崎	日本パルプ工業(株) 日南工場	1,260	55	4.5	有	33,481	
鹿児島	九州電力(株) 鹿児島支店	265	161	3.1	無	24,300	

地区労働者の 賃 金		主婦会・家族会		室からの の所要 時 間 (分)	備 考
最 高	最低	有 無	加入 状 況		
91029	13375	有	496	90	36.6より開始
76,000	6,000	"	不明	20	36.5 終了
70,000	16,000	無		20	36.4より 37.3 実施
25,000	8,500	"		9	36.6 終了
50,000	22,000	"		30	36.6 開始
35,100	11,300	なし			36.4より 37.3まで実施
36,400	28,900	有	78		36.12 終了
25,000	14,000	"	280	30	36.8より開始
40,000	22,000	"	全員	60	36.7より 37.3まで 実施
40,000	10,000	無		35	36.8 終了
29,803	23,305	有	全員 加入	30	36.12 終了
40,000	20,000	なし			36.7より開始
		"			36.5より開始

昭和36年における労働者家庭生活
技術指導状況

1. 対象地区 46カ所

2. 対象主婦数 5,607人

3. 指導方法

講義、実習、討議、見学等による

4. 指導にあたった人々

婦人少年室長 専任協助力員 婦人問題相談員

大学教官（教授、助教授、講師）

保健所職員（所長、保健婦、栄養士）

県庁職員（商工課、保健課等）

県教育委員会関係者（教育委員、社会教育課職員）

家裁職員（所長）

少年鑑別所職員（所長）

高、中、小学校教員

報道関係者（社会部長、論説委員）

医師

電力会社関係者

友の会々員

料理研究家

日銀支店長 貯蓄推進委員会職員

NH K婦人学級相談員

5. 指導回数

/カ月/回 /回々時間

6. 主な指導項目

(1) 家庭経済に関するもの

○ 予算生活について

予算生活の必要性

予算の組織

予算の年間計画

予算生活の実行上の問題

決算とその処置

赤字の処置

○ 家計簿について

家計簿の必要性

家計簿の費目区分

家計簿の記入のしかた

○ その他

勤労者家庭における収支のバランスについて

エンケル係数について

最近の物価問題

貯金について

今後の経済成長と私たちの生活

消費と家庭生活

(2) 食生活に関するもの

○ 栄養一般について

栄養の基礎知識

1カ月の標準栄養量

栄養管理について

栄養3色食品と3色運動について

年令別の栄養基準量

勤労者（特に中年層）の栄養について

炭鉱労働者の栄養について

子どもの栄養と間食の問題

日常の食生活と栄養価

○ 食品 献立について

勤労者の疲労回復に役立つ食物

新鮮な魚の見分け方

レバーの栄養価

米飯とパンの栄養価

インスタント食品の栄養と衛生

加工食品のえらび方

常備食品について

勤労者の食事献立の簡単な型

成人勤労者 / 日の合理的な食事献立の型

発育ざかりの子どものための献立

○ 食品衛生について

食物と食品衛生

食中毒の原因と予防

食中毒の種類と症状

○ 食品の保存について

食品の保存のしかた

○ 季節的なもの

働く人のための夏の栄養と食品衛生

梅雨期の食物と食生活の注意

夏の子どもの食生活について

○ カロリー計算のしかた

○ 料理実習

調理材料と調理の方法

1人 / 日 100円以内でできるそうざい料理

油とおなじみになるために簡単な油料理

働く人のおべんとうの重要性とつくり方

働く人のおべんとうの主食と副食のわり合い

“ “ 容器とつめ合わせ方の注意

夏のおべんとうのつくり方

のどのいたい時の料理

レバ ー 料 理

パンを使った料理

冬をひかえての漬けもの・

おまつり用すしのつくり方

ク リ ス マ ス 料 理

あ た た か い 料 理

正月料理の栄養とつくり方

カロリーの高い洋風正月料理

ひなまつり料理

調味料の使い方

その他、そうざい料理 季節料理等

(3) 衣生活に関するもの

- 衣生活の改善について
- 計画的な衣生活を
- 自分の生活にマッチした衣類

- ぐらしに合わせた仕事着のあり方とつくり方
- 衣類の洗濯と質の変化について
- 洗剤のいろいろ
- 衣類の手入れと保存

季節ごとの衣類の整理方法

- 下着について
- 敷布について
- 新しい繊維のいろいろ
- 寝具と衛生
- 実 習

簡易クリーニング方法

セーター等 毛織物の洗濯方法

新しい繊維の洗濯方法

漂白、しみ抜き、防水のしかた

改良帯のつくり方

簡単な下着のつくり方

布田のつくり方と手入れの方法

刺しゅうのいろいろとスエーデン刺しゅうの基本

レースあみのいろいろと基本

(4) 住生活に関するもの

- 電気の知識
- 社宅を住みよくするために
- 梅雨期の住居の衛生について
- 実 習

障子 ふすまの話と、はりかえ方

電気機器の修理方法と注意

(5) 保 健 衛生に関するもの

- 勤労者家庭における健康管理について
- 勤労者家庭の健康を守るために必要な医学知識
- 家庭の常備医薬品と正しい使い方
- 勤労者家庭の主婦の健康を守るために

田よいつまでも若く健康に

- 成人病というもの
- 更年期障害とその予防
- 計画産児とその正しい方法
- 育児について
- 小児マヒの予防
- 子どものかかりやすい病気

○ 家庭看護上の注意と応急手当のいろいろ
（実習を含む）

○ マッサージの効用と注意点（実習を含む）

○ 社宅の環境衛生について

○ カ、ハエ、油虫の害と その発生 駆除について

○ 梅雨期の保健上の注意

○ 夏の保健衛生について

(6) 人間関係に関するもの

○ 社宅のつきあいについて

○ 明るい家族関係をつくるために

○ 新しい交際のし方について

○ 婦人の組織における人間関係

○ 婦人会の現状と市民意識

○ 勤労者家庭の親と子の問題について

○ 子どもは親をどうみているか

(7) 子どもの教育等に関するもの

○ 子どもの人格の育成について

○ 児童心理からみたしつけの問題

- 子どもの良い成長とは――
- 児童の社会的成熟尺度について
- 幼児から小学生までのしつけについて
- 家庭における子どもの生活指導のしかた
- 社宅等 集田住宅における幼児のしつけ方
- 子どもとあそび
- 危ないあそびをやめさせるには――
- 新学期 入学期の子どもの生活指導と母親のあり方
- 勤労者家庭と子どもの進学について
- 学期末休みの子どもの生活指導について
- 反抗期の子どもの扱い方
- 不良少年といわれる子どもの扱い方
- 青少年問題と母親
- 新しい世代のものの考え方

(8) 生活時間に関するもの

- 勤労者の新家庭から老年までの生活時間 8つの実例
- 勤労者家庭の生活時間の実状と問題点
- 主婦の1日の時間の使い方
- 母親と乳幼児の日課を考える

- あたたく、明るい老後の生活のために
孫たちとの暮らしを、こうして賢く、たのしく
老人ホームの暮らし

(9) そ の 他

- 家庭裁判所からみた離婚問題と婦人
- 財産相続と遺言
- 新聞のよみ方
- 内職問題について
- 時 事 問 題
- 税金・保険について

(10) 社 会 見 学

- 放 送 局
- 新 聞 社
- 工 場
- 肢体不自由児収容施設
- 家庭生活 主婦の生活に関する展覧会

7. 家政研究グループの状況

新たに家政研究グループに移行した 10 カ所（10 県）を加えて全国では 23 カ所（15 県）となる。研究及び実習の内容は モデル地区の指導項目に続いて家庭生活の各面の問題を取り上げている。



